

第4学年 国語科

学期	学習計画	時数	目標	
前期	1. 物語をくふうして音読しよう ○こわれた千の楽器 図書館へ行こう 心の動きを文章に書こう 漢字の読み方に気をつけよう	5 1 4 3	(1) 相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力、話の中心に気を付けて聞く能力、進行に沿って話し合う能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら話したり聞いたりしようとする態度を育てる。 (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などに注意して文章を書く能力を身に付けさせるとともに、工夫をしながら書こうとする態度を育てる。 (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。 主な学習活動 ・3学年までで学習した国語科の基礎的な力を基にして、相手や目的に応じて話したり書いたりできるように学習します。また、聞いたり読んだりする学習では、内容の中心をとらえることに重点を置いて学習します。 ・漢字辞典の使い方やローマ字の学習が新しく加わります。	
	2. だん落のつながりをとらえながら読もう ○ヤドカリとイソギンチャク 案内係になろう わたしが選んだ今月のニュース 漢字辞典の使い方を知ろう	8 4 5 4		
	3. 人物の様子や気持ちを考えながら読もう ○走れ メモの取り方をくふうして聞こう	11 4		
	4. 目的による表し方のちがいを考えよう ○広告と説明書を読み比べよう わたしの考えたこと 「ことわざブック」を作ろう 本は友達 詩を読もう	8 9 7 2 4		
	○ふしぎ よかったなあ 「今の自分」を話します お願いやお礼の手紙を書こう 文末の言い方に目を向けよう	6 5 4		
	後期	1. 人物の気持ちの変化を考えて読もう ○ごんぎつね 連詩にちょうせん 文の組み立てを考えよう		13 8 3
		2. 暮らしの中の世界について調べよう ○暮らしの中の和と洋 みんなで話し合っ		11 6
		3. 取材したことをもとに学習新聞を ○みんなで新聞を作ろう 文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう		12 3
		4. 家族やふるさとを思う心をえがき ○世界一美しいぼくの村 「百人一首」を声に出して読んでみよう 目的に合わせて書こう		11 3 5
		5. 調べたことをポスター発表で報告しよう ○報告します, みんなの生活 同じ読み方の漢字に気をつけよう		12 3
		6. わたしたちの生活とロボットについて ○「ゆめロボット」を作る 「十さいのわたし」文集を作ろう 漢字を使って読みやすい文を書こう		11 7 3
		7. 様子が分かるように音読げきをしよう ○木竜うるし(人形げき)		10
		合計		215

評価について

・ノート ・ペーパーテスト ・授業中の様子など

保護者の方へ

・国語の学習では、教科書を使用して学習を進めます。教科書以外では、漢字スキルを使用します。家庭学習でも活用してください。

・漢字辞典の使い方を学習します。家庭でも辞典を活用してください。

・朝の読書タイムなどを通して読書指導をします。